はつかいどうかちくはい ぶつりょうそくしんけいかく 北海道家畜排せつ物利用促進計画 そあん がいよう 素案の概要 (やさしい版)

《おとなのみなさまへ》

この資料は「北海道家畜排せつ物利用促進計画」の策定に当たって、

こどものみなさんの意見を聴くためにつくりました。

ぜひお子様と一緒にお読みください。

なお、大人向けの意見募集も行っておりますので、下記ホームページをご覧ください。



https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/tss/240376.html

1 家畜排せつ物ってなに?

かちくはい ぶつ さし ぶた にわとり 家畜排せつ物とは、牛、豚、 鶏 などがする

「うんち」や「おしっこ」のことです。

北海道では、毎年、およそ 2,000万トンの家畜排せつ物が 発生していますが、そのほとんどは牛がするものです。

家畜排せつ物は、微生物の力で発酵させて堆肥にして、畑 や牧草地などにまいて、肥料として有効に利用することができます。

2 なんのために計画を作るの?

農家の皆さんが、家畜排せつ物を適切に管理し、肥料などとしてこの先も 有効に利用していくため、農家の皆さんや関係者が取り組むことなどをお 質いに知ることができるようにするため、計画を策定しています。

3 新しい計画のポイントはなに?

家畜排せつ物は、適切に管理しないと、自然環境を悪くしてしまうので 以下である。 臭いを減らしたり、川などの水を汚さないようにすることが大切です。

また、家畜排せつ物を発酵させて堆肥にするときに発生する気体には、温室効果ガス(地球を暖める効果のある意味)が含まれるので、そういう気体が発生しにくい方法で堆肥を作ることも大事です。



北海道が作ろうとしている「北海道家畜排せつ物利用促進計画」について、この資料を読んで、あなたが思ったことや、*考えたことを教えてください!

パソコンやスマートフォンなどから、あなたの意見を簡単に 出すことができます!

https://www.harp.lg.jp/4lWrgbmz



